

■総合計画の構成について

1. 現状

これまでの銚田市総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3層構造となっています。

(1) 基本構想

まちづくりの基本的な理念や目指すべき将来像、将来の基本目標などを示し、長期的な視点に立ったまちづくりの将来ビジョンを定めたもの。

・計画期間：10年間

(2) 基本計画

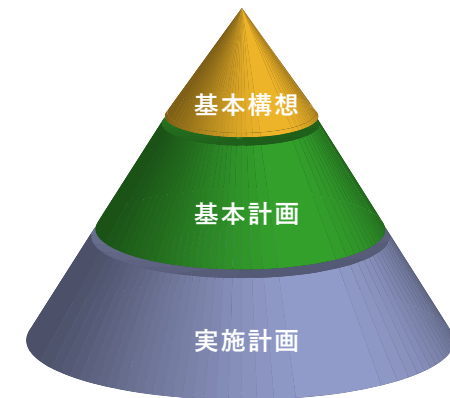
基本構想に掲げた目指すべき将来像や将来の基本目標を実現するための施策体系を示すもので、施策分野ごとに市の現状と課題を踏まえた今後の方向や主要施策等を定めるもの。

・計画期間：前期・後期各5年間

(3) 実施計画

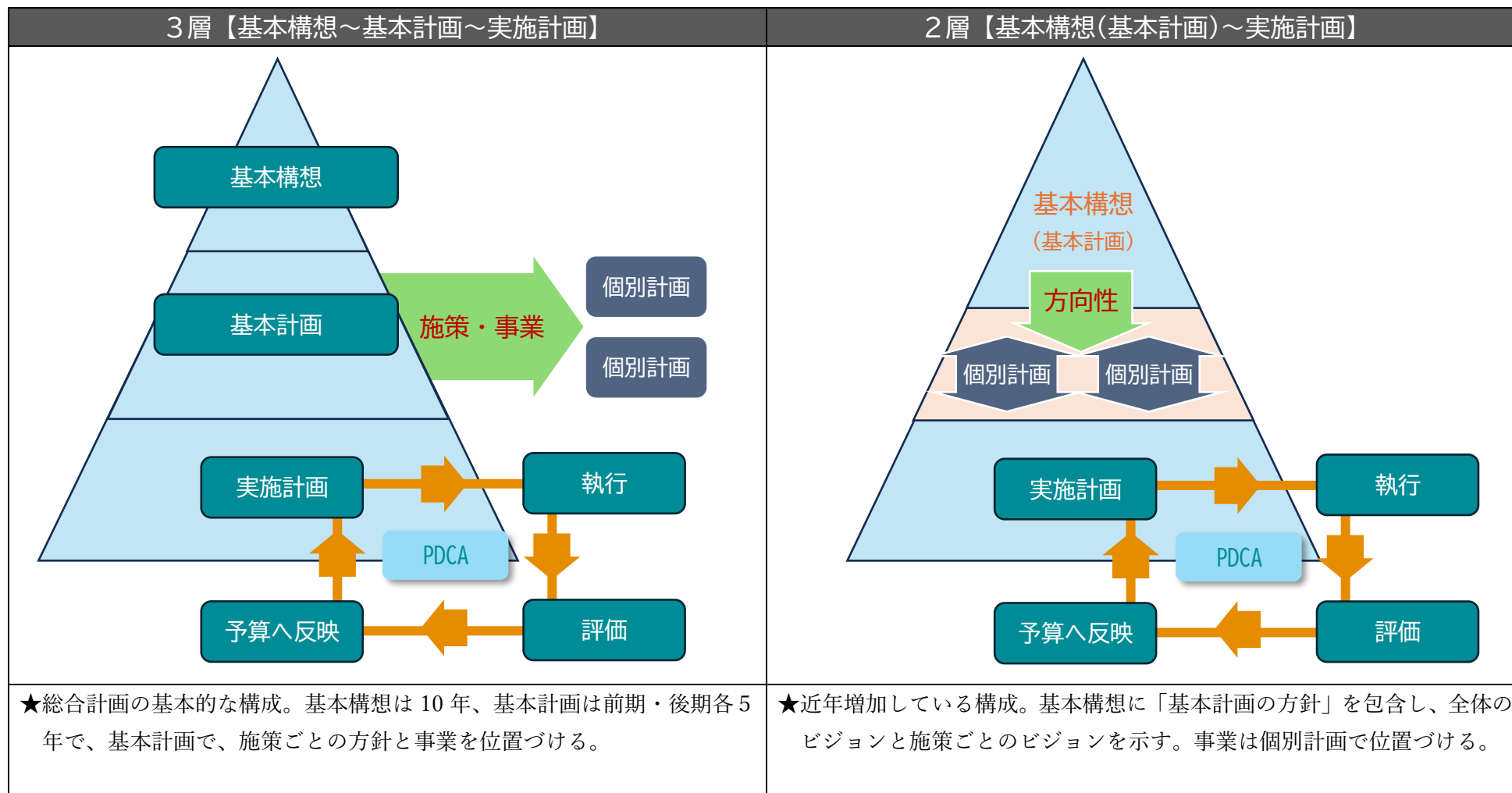
基本計画で示した施策体系に基づく事業計画。

・計画期間：5年間



2. 課題

基本構想、基本計画、実施計画のそれぞれに最も適した計画期間を設定できるメリットがありますが、一方で、基本計画については5年ごとの見直しとなることから、社会経済情勢の急激な変化に柔軟に対応できないなどのデメリットもあります。



※2層構造は、社会経済情勢の急激な変化に実施計画で柔軟な運用ができるメリットがあります。基本計画が担ってきた基本構想で掲げる目標とその目標に到達するための施策の体系付けについては、基本構想に各施策分野の基本的な方向性を含めた上で、各分野の個別計画において基本構想で位置づけた方向性に基づき、各分野の施策・事業を明らかにします。